

1 課題名 海色画像などを使った漁場探索の高度化技術開発と運用

2 区分 県単

3 期間 平成15年度～

4 担当 企画情報部（小久保友義）

5 目的

カツオひき縄漁業における漁場探索の効率化を図るため、リモートセンシングで得られる水温画像と植物プランクトン（クロロフィルa）の分布指標である海色画像の二種類の画像を組み合わせ、漁場を特定するための解析プログラムを開発し、精度の高い漁場探索マップを作成し、情報提供システムを確立する。

6 成果の要約

(1) 試験の方法

人工衛星（NOAAとAQUA）から水温・海色データを収集し、画像を作成する（図1, 2）。その後、カツオが多獲された位置を漁業者から聞き取り、各画像から聞き取った位置の水温と海色値を抽出する。得られた水温と海色値を用いて、解析プログラムにより漁場が形成されたと予想される位置をプロットし、漁場探索マップを作成する（図3）。

なお、解析プログラムの開発は、日本船用エレクトロニクス株式会社へ委託した。

(2) 成果の概要

解析プログラムにより、カツオ等を対象とした漁場探索マップを作成し、平成18年9月11日以降に水温情報等も併せてホームページ（<http://www18.ocn.ne.jp/~wasuishi/>）により情報発信した。

なお、9月11日～3月31日のトータルアクセス数は15,843件となった。

7 成果の取り扱い

(1) 成果の普及

成果報告会等で漁業関係者に普及した。

(2) 成果の発表

分かりやすい研究成果集（戦略的研究開発プラン）及び和歌山県戦略的研究開発プラン研究成果発表会等で発表した。

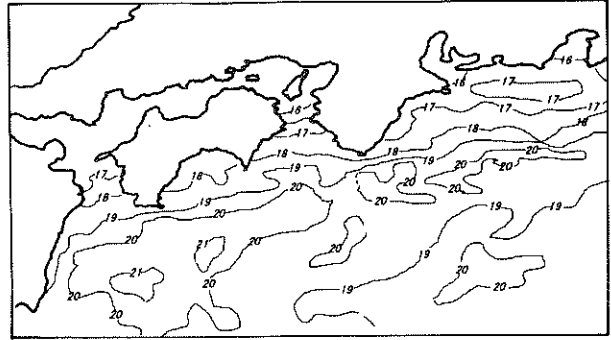


図1 海表面水温画像（℃）

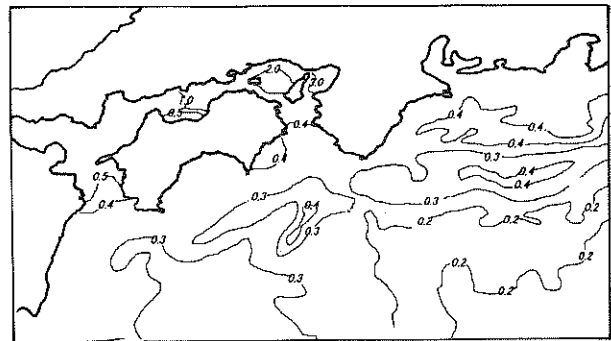


図2 海表面海色画像（mg/m³）



図3 漁場探索マップ